



第37回定期総会を開催

2017年9月28日、CSAは、第37回定期総会を東京千代田区の連合会館で開催し、来賓、常任理事・評議員、支援組織代表者等、43名が出席しました。

渡辺常任理事の司会で開会し、議長として新常任理事が選出され、議事進行を行いました。会長挨拶の後、連合より南部副事務局長、駐日ラオス大使館よりウォンサク代理大使から来賓挨拶を受けました。

続いて、山岡事務局長が2016年度事業報告、2016年度会計報告を行い、橋本監事が同会計監査報告を行い、それぞれ確認されました。さらに、事務局長が2017年度事業計画と同予算案を提案し、決定されました。続いて、倉

田常任理事が役員の一部改選について提案し、満場一致で承認されました。最後に、新議長の退任挨拶、渡辺常任理事の閉会挨拶で第37回総会は成功裏に終了しました。



会長挨拶

第37回定期総会に出席いただきました役員ならびに代議員そして傍聴者の皆さん、大変ご苦勞様です。日頃より、アジア連帯委員会（CSA）の活動に対して、ご理解と、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

また、来賓としてご臨席を賜りました、連合の南部副事務局長、駐日ラオス大使館のウォンサク代理大使におかれましては、大変お忙しい中にも拘わらず私共のために時間をおとりいただき、誠に有難うございました。日頃のご支援・ご協力と併せて、改めてお礼を申し上げます。後ほど、連帯と激励のご挨拶を賜りますよう、宜しく願いいたします。

昨年9月28日に開催しました、第36回定期総会で決定していただきました「2016年度事業計画」に基づいてこの1年間、評議員会と常任理事会で具体化のための検討を行いながら、活動を進めて参りました。

「救援衣類を送る運動」「ラオス初等教育改善としての・・・学校建設および補修」「ラオス高等教育改善としての・・・高校生寮支援」の3事業を柱として、多くの皆さんからご協力を得ながら、活動を進めることが出来ました。

詳細は、この後、事務局長より「2016年度事業報告」として行いますが、私からは次の3点について、今後の方針の一端も含めて述べ、挨拶とさせていただきます。

第1点目は、「救援衣類を送る運動」についてです。

昨年10月7日の集荷締切りで実施した「第33次救援衣類を送る運動」は、段ボール箱で約7,700個と前年に比べ1割強の減少となりましたが、かねてよりのラオスからの増量要請を受けタイとの配分を見直して対応しました。

一方、「海外輸送費の募金」は、前年を上回る682万円を集約することが出来ました。この金額は、第33次救援衣類の海外輸送費総額の約86%強に当たります。改めて、ご協力いただきました団体および個人の皆様方に心よりお礼を申し上げます。

なお、第33次の取り組みから募金の目安金額を、「出来るだけシンプルな方法に」とのご要望に対応するため、段ボール箱のサイズに応じて2区分に設定していた従来の方式から、「段ボール1個につき1,000円」に一本化させていただきました。

今後は、「衣類の提供と海外輸送費募金のセットでの取り組み」の定着とともに、「海外輸送費募金単独での取り組み」への更なる協力をお願いしていきたいと考えています。

第2点目は、小学校の建設と補修についてです。

2016年度も、資金的な事情により新しい小学校建設の取り組みは見送らざるを得ず、既設校の補修に留まりました。

既設校の補修は、期をまたがったの取り組みを含め3件実施しています。

1件目は、1997年建設の3番目校・コンケオ村小学校の屋根と天井等の補修。

2件目は、1998年建設の5番目校・ナカン村小学校の屋根と天井等の補修。

3件目は、2000年にセントラル硝子労組の資金提供で建設した8番目校・ホアナ村小学校の天井、壁、トイレ等の補修です。

何れも当方から必要な資材を提供し、特に専門的技術を要しない工事は現地の父兄の皆さんの労力提供で進めています。

なお、3件目のホアナ村小学校の補修費用は、セントラル硝子労組から全面的なご協力を得ましたことを報告し、改めて感謝の気持ちを表させていただきます。

2004年建設の14番目校・シェンレーナ村小学校の寄贈団体であるJ P 労組東京地本、2014年建設の24番目校・ファサン村小学校の寄贈団体である基幹労連の両組織から、当該校の将来の補修費に充てることを目的として定期的に資金の積み立てをいただいています。

C S Aの財政状況からして、残念ながら自前での学校建設には今なお一定の期間を要すると言わざるを得ません。当面は老朽度合いに応じた既設校の補修を優先する中で、補修工事への労力提供など現地での負担努力を更に要請して費用の節減に努め、新規建設のための資金を着実に蓄えていきたいと考えています。

第3点目は、サンティパープ高校生寮の支援についてです。

2002年に建設し提供を開始したルアンプラバン県のサンティパープ高校生寮は、1学年30名・計90名の遠隔地出身の入寮生とその家族にとって、欠く事のできない存在となっています。寮生は総じて成績優秀で、中には大学に進学後日本に留学するケースも見られます。今年は1名の卒寮生が留学生として来日し、1年間の日本語研修を終えた後に地方の高等専門学校への編入が予定されています。将来のラオスを担う人材育成に私たちの活動は少なからず貢献していると自負できます。

寮の運営面では、2015年5月に県・高校・C S Aの3者間で「食費の10%増」を織り込んで調印した3年契約の最終年度として対応するとともに、2018年5月以降の運営費等に関わる新たな契約締結に取り組みます。

本日の定期総会では、「2017年度の事業計画」と、その裏づけとなる「2017年度予算」、加えて、来年の役員定期改選を睨んでの事務局体制の整備と人員配置について協議していただくことにしております。

限られた時間ですが、代議員の皆さんからの忌憚のないご意見により方針を補強して頂き、引き続いてアジア連帯委員会(C S A)が、皆さんと一体となって活動を進められることを心からお願いし、挨拶とさせていただきます。

「第34次救援衣類を送る運動」8,856箱集約

10月2日～6日の間に昨年までの送付先とは異なる東京都江東区新木場の西濃運輸(株)東京物流センター セイノー通関(株)東京海運営業所に全国から送られてきた中古衣類は、ダンボール箱8,856箱、40Fコンテナ14本に達しました。

このうち、ラオス向け衣類は、10月8日に東京を出港し、10月20日にバンコク港に到着、11月16日にラオスの保健省衣類倉庫へ輸送されました。

また、タイ向けは、10月16日に東京を出港し、10月27日にバンコク港に到着、11月11日にタイ社

会福祉省衣類倉庫へ搬入されました。今後は、各省庁を通して恵まれない人々に配布される予定です。

第34次の取り組みでは、衣類提供の場合は、1箱につき1,000円を目安に輸送募金へのご協力をお願いしています。衣類を提供されない場合も、運動の趣旨に賛同する支援組織や支援者に輸送募金のご協力をお願いしています。(第34次の輸送募金は来年7月末まで受け付けています)

参 考：「第33次救援衣類を送る運動」（2016年度）の集荷量、輸送費、輸送募金額
 集荷量：7,709箱、40Fコンテナ14本
 輸送費：¥7,875,855、輸送募金総額： ¥6,823,361(輸送費の86.6%)



ラオスの倉庫へ搬入



タイの倉庫へ搬入

小学校建設・補修・確認活動

1. ナカン村小学校(5番目校)の補修について
 4月27日(木)、ナカン村小学校の屋根と天井等の補修資材費として、534,108円(\$4,700)送金しました。

2. ホアナ村小学校(8番目校)訪問、補修について
 5月24日(水)、セントラル硝子労組ラオス視察派遣団はホアナ村小学校(2000年セントラル硝子労組寄贈)を訪問し、先生と意見交換、校舎の視察を行いました。

校舎は老朽化により傷みが酷く、屋根や天井、壁、扉等の補修が必要であり、使用できないトイレが3カ所あることを確認しました。

同労組は帰国後、ホアナ村小学校の補修資材費としてCSAに633,604円の学校建設・補修募金を行いました。これを受けて、CSAは6月9日(金)、ホアナ村小学校の補修資材費として633,604円(\$5,600)送金しました。



ナカン村小学校校舎



ホアナ村小学校校舎

高校生寮支援

(1) 2017年ワーキング・スタディ・ツアーでの高校生寮訪問・交流

1月19日(木)、2017ワーキング・スタディ・ツアー(WST)メンバーは、高校生寮を訪問し、視察交流を行いました。挨拶の中で校長は「寮生には勉強だけではなく、寮の清掃をやることも指導している。CSAの支援は

大変有難く、責任を持って寮運営をしていきたい」と述べました。その後、救援衣類50箱を寮生に引き渡した後、寮の視察を行い、2016年6月に補修資材費を送金した天井や配線の補修、壁やドアの塗装が終わっていることを確認しました。

(2) セントラル硝子労組ラオス視察派遣団の訪問・卒寮式

5月25日(木)、視察団と山岡事務局長は、高校生寮を訪問し、卒寮式を行うとともに、交流、視察をしました。卒寮式で校長は、「寮生は自分の夢を実現するために頑張っているので、ラオスの将来を担う人材が育っている。CSAの支援には大変感謝している」と述べ

ました。寮官は、「寮生は90名(女性18名)。科目別全国試験では、化学と数学で1位だった。寮生は、スポーツや文化の面でも頑張っている」と述べました。事務局長は、30名の卒寮生に記念品を手渡すとともに、全国試験成績優秀者にお祝いを手渡し、その後、視察団はラオス舞踊やバーシーセレモニーで交流した後、寮の視察を行いました。



卒寮式



高校生寮前

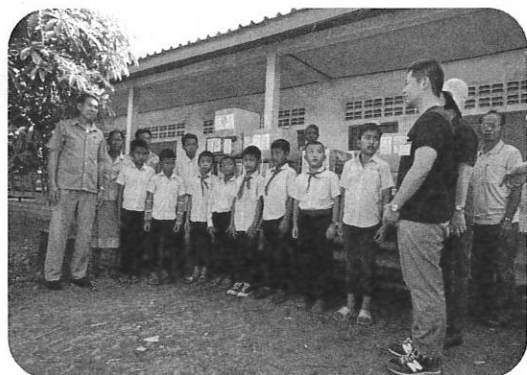
2017年ワーキング・スタディ・ツアーを実施

1月14日～21日、2017年ワーキング・スタディ・ツアー(WST)を実施し、9名の参加者がCSAの現地事業を視察するとともに、訪問先の人々と交流しました。

ラオスでは、ターディンデンタイ村小学校(19番目校)、コンケオ村小学校(3番目校)、卒寮生との交流を初日に行い、翌日にはラオス教育スポーツ省初等教育局、ラオス保健省衣類倉庫の視察、さらに在ラオス日本大使館、ラオス地雷博物館、難民を助ける会ラオス事務所を公式訪問し意見交換等を行いました。さらに、社会開発福祉省での衣類引き渡し式に出席するなどし、タイ社会開発福祉省衣類倉庫の視察や、在タイ

日本大使館を訪問し、当面の課題等について活発な情報・意見交換を行い、2017年のWSTはすべての行程を滞りなく終わりました。

参加者は、帰国後、訪問先の記録、参加者アンケート、感想文を提出し、「2017年ワーキング・スタディ・ツアー報告書」を作成しました。参加者アンケートでは、①中古衣類が現地の必要としている人々に届く迄の流れを自分の目で確認できた。②CSAの活動を必要としている人々が多くいることがわかった。③訪問先で現地の人と意見交換や交流ができた。④参加組織の支援への思いや取り組み等について情報交換ができたのでよかった等の感想をいただきました。



寄贈校(コンケオ村小学校)の視察



タイでの衣類引き渡し式

日立オートモティブシステムズメジャメント労組 様
 富士通システムズ・イースト労組 様
 北陸電力労組加南分会 様
 北陸電力労組手取分会 様
 堀硝子労行組合 様
 南勤労者旅行会 様

日産労連バンテック労組 様
 日産労連フコク労組 様
 味の素労組 様
 味の素労組生産組合九州エリア 様
 味の素労組東海支部 様

団体合計 ¥5,734,485

輸送募金個人・団体合計 ¥6,238,936

《学校建設・補修募金》

〈個人名〉

奥寺千恵子様 橋本和秀様
 間宮悠紀雄様 熊谷由美子様
 吉井眞之様 山岡みゆき様
 宮内博文様 足立ほうりゅう様

田口敬子様 並木賢一様
 渡邊ひな子様 堀紀子様
 兵頭梅子様 有村利範様

個人合計 ¥62,236

〈団体名〉

J A M 様
 J P 労組 東京地方本部 様
 U A ゼンセン山梨県支部 様
 岡山県貨物運送労連 様
 基幹 労連 様

交通労連中国地方総支部青年・女性委員会 様
 三八五 労働組 様
 三菱自動車工業労働組 様
 全九州産交運輸労働組 様
 北海道中央バス労働組 様

団体合計 ¥1,803,798

学校建設・補修募金個人・団体合計 ¥1,866,034

《高校生支援募金》

〈個人名〉

吉井眞之様 山岡みゆき様
 宮内博文様 石橋俊彦様
 宮本亮様 足立ほうりゅう様
 橋本和秀様

長石春彦様 板倉裕光様
 田口敬子様 並木賢一様
 渡邊ひな子様 堀紀子様

個人合計 ¥174,400

〈団体名〉

住友重機械労連 様
 基幹 労連 様

J A M 様
 U A ゼンセン山梨県支部 様

団体合計 ¥505,000

高校生支援募金個人・団体合計 ¥679,400

募金総合計 ¥8,784,370

下記会員の皆様にも、年会費としてご支援いただきました。

期間：2016年11月1日～2017年10月31日

(順不同)

〈個人名〉

相馬末一様 河瀬義則様
 足立ほうりゅう様 間宮悠紀様
 大木明石様 吉井眞之様
 長石春彦様 吉野雅彦様
 小林シゲル様 加藤みち子様
 小林征伍様 塩坂博史様

渡邊ひな子様 山岡みゆき様
 福田美秋様 山田河ささ様
 兵頭梅子様 山田孔子様
 並木賢一様 小池保久様
 宮内博文様 矢田利範様
 熊谷由美子様 有村利範様

山岡みゆき様
 山田河ささ様
 小池孔子様
 矢田保久様
 有村利範様

